事例No.	2033
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	青森県青森市

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・新たな政策手法の確立・活用 ・ICT

事例種類	医療・福祉・健康

事例内容・タイトル

ヘルステック・モビリティやIoTを活用したみまもりサービスで健康寿命延伸

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

53 ヘルステック・モビリティやIoTを活用したみまもりサービスで健康寿命延伸【青森県青森市】

事業の概要

○　青森市は、平成31年2月に(株)フィリップス・ジャパンと「ヘルステックを核とした健康まちづくり連携協定」を締結するとともに、「あおもりヘルステックコンソーシアム」を設立し、「モビリティを活用した予防サービス」の提供(ヘルステック機器を搭載したモビリティで集会場等に出向き、簡易ヘルスチェックを実施)や「IoTを活用したみまもりサービス」の提供(生体・生活データを収集し行う、オンラインによる高齢者の見守り)に取り組んできた。

○　市は、令和3年5月末に青森市立浪岡病院内に市民の健康寿命延伸に向けた健康づくりの拠点として「あおもりヘルステックセンター」を設置した。


コンソーシアム設立

○　あおもりヘルステックセンターでは、これらの取組から得られたデータ分析等を通じて、地域の健康課題の解決に取り組んでいる。


モビリティ


みまもり

【参考情報①】 人口：27.8万人
関連URL：　https://ahtc.aomori.jp/

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。

青森市浪岡地区には、青森市平均と比べ、特定健診受診率が低い、医療従事者が少ないといった健康課題があります。
また、高齢化率や人口密度が全国の市区町村の中央値に近いことから浪岡地区の健康課題を解消するためのサービスを構築することで、全国への波及効果を期待できると考えたためです。


（青森市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



内閣府の地方創生推進交付金（令和2年度から3年間）を活用しました。



事業の近況を教えてください。

新たな取組として、認知機能低下を最新の電力センサーがAI分析で予測し、市の介護予防活動につなげる全国初となる実証実験を開始し、プロジェクトの深化を図ってまいります。
また、本プロジェクトをより多くの企業の皆様に知っていただくため、専用のホームページを開設しました。
詳しくは、ホームページをご覧ください。



★担当：青森市 浪岡病院事務局★

令和3年度事業費　28,503千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　28,503千円）